

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹 春  
市議会  
だより

itami May.2, 2022 vol. 243

CONTENTS

vol.243の主な内容

- P.2~5... 代表質問
- P.5 ..... 個人質問
- P.6~7... 議案審査
- P.7 ..... 議決結果
- P.8 ..... 人事

市議会からのお知らせ  
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。(通信費は利用者負担になります。)



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット  
たみまる

# 代表質問

令和4年第1回定例会(2月17日～3月25日)では、各会派を代表して6人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。

その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 **検索** ①会議録検索システム (6月中旬に掲載予定) ②本会議中継・録画配信 ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。



## 会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

### ●新政会

代表 戸田 龍起  
(議長) 加藤 光博  
高塚 伴子  
杉 一  
土井 秀勝  
花田康次郎

### ●公明党

代表 竹村 和人  
北原 速男  
山本 恭子  
(副議長) 篠原 光宏  
里見 孝枝  
永松 敏彦

### ●フォーラム伊丹

代表 保田 憲司  
(監査委員) 山藺 有理  
大津留 求  
岸田真佐人  
高橋 有子  
安藤なの香

### ●創政会

代表 佐藤 良憲  
新内竜一郎  
吉井 健二  
川井田清香  
鈴木久美子

### ●日本共産党 伊丹市議会議員団

代表 上原 秀樹  
久村真知子

### ●伊丹維新・ 無所属の会

代表 齊藤 真治  
佐竹 璃保

### ○会派に属さない議員

小西 彦治



公明党



竹村 和人 議員



### こども医療費助成制度の充実

**問** 今回の助成事業拡大では、所得制限内で、小学1年生から中学3年生まで、通院医療費が無償化となる。今後、制度水準を維持継続し充実

させるため、過剰診療等による大きな財政負担を招かないための工夫や、取組等の適正化に向けた対策を伺う。

**答** 急病等やむを得ない場合を除き、夜間・休日に受診するコンビニ受診等を受けるためには、適正受診

### 高度急性期医療体制を担う救急体制

**問** 団塊世代全員が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を迎える中、一刻を争う疾患に対応するため、救急搬送の質の向上を図る必要がある。高度急性期医療体制を担う統合新病院開院に合わせた救急ワークステーション設置の検討が施政方針で示されたが、その内容を伺う。

**答** 救急ワークステーションでは、消防署に配置される救急隊と救急車両を病院内に配置し、救急要請時は緊急出動し、現場活動を行う。平常時は、救急隊員の病院と連携した研修を実施し、特に救急救命士法に基づき実施する気管挿管や静脈路確保、救命に必要な薬剤の投与など、救急救命士が行う特定行為の技術向上を目指すことで、救急搬送の質を高め、高度急性期を含む心肺停止等、重篤な傷病者の救命率の向上につなげることを想定してい

について啓発していくことが重要である。具体的には、今回の通院医療費の無償化について、広報伊丹、ホームページに掲載するとともに、医療機関や薬局へポスター等を配付し、周知を図る。さらに、通話料や相談料が無料で、24時間対応の「いたみ健康・医療相談ダイヤル24」の周知も改めて行うなど、引き続き適正に受診していただけるよう、周知・啓発を行うことで、こども医療費助成が持続可能な制度として実施できるよう努めていく。

る。今後、伊丹病院を初めとした各関係機関・部局と連携を図りながら、設置の協議を進め、救急体制の強化を図っていく。



統合新病院のイメージ図

新政会



杉 一 議員



市民・事業者と一体となって脱炭素社会の実現に向けた基盤を築いていく。

※2050年に二酸化炭素排出を実質ゼロにすることを旨とする、首長が公表した地方自治体



市内を走る公用電気自動車

なり、所得制限を設けなければ対象者が約12,800人追加され年間約3億6,100万円が必要になると試算している。また、18歳以下の医療費無償化の実施の可能性は、子育て施策における各施策のバランスの中で方向性を見極めることが重要であり、捻出できる財政規模の範囲内で効率的かつ効果的な制度設計を進めることが市民に理解いただける制度拡大の在り方と認識しており、今後、調査・研究していく。

市民に、より明確に示す上で有効と考える。

一方で、理念だけではなく、目標達成に向けた具体的な道筋や取組を示すことも重要であると考えことから、環境基本計画及び市地球温暖化対策推進実行計画の見直しと併せて、より効果的な手段・時期を検討する。今後とも

### ゼロカーボンシティ※宣言 ～表明時期と本市の方向性～

**問** ゼロカーボンシティの表明時期と本市の方向性を伺う。

**答** ゼロカーボンシティの表明は、本市の環境施策に対する姿勢を

### こども医療費助成事業 ～対象者のさらなる拡大～

**問** 令和4年7月から、所得制限内の小学1年生から中学3年生までを対象とした通院医療費の無償化が実施されることになったが、令和3年第5回定例会で新政会より提案した18歳以下の医療費無償化を実施する場合、必要とされる事業費と実施の可能性を伺う。

**答** こども医療費助成事業は、これまで未就学児の通院医療費や中学3年生までの入院医療費の無償化、小学1年生から中学3年生までの通院医療費の一部負担金の助成拡大を行っている。本年7月からは、所得制限内において小学1年生から中学3年生までの通院医療費無償化を実施する。仮に18歳以下の医療費を無償化する場合、所得制限を設けると対象者が約4,000人追加され年間約9,000万円が必要と

フォーラム伊丹



安藤 なの香 議員



### こども医療費助成事業

**問** 令和4年7月から実施するこども医療費助成事業の拡大策にかける市長の思いを伺う。

**答** 就任以来、「まちづくりは人づくりから」という考えのもと施策を進めてきた。本市の未来を担う全

ての子どもが夢と希望をもって健やかな成長ができるよう、我々大人が、社会がしっかりと支え育んでいかなければならない。そのためには、子育て世帯の経済的負担を減らすとともに、子どもを持ちたい方が安心して産み育てられる環境を作るべきである。本来、子ども医療費助成は、国が実施すべきと考えるが、少子高齢化の急速な進展による社会状況の変化や、新型コロナウイルス

による市民生活への影響が長期化する中、こども医療費の無償化が、若い世代が住む場所を選択する1つの指針となっていることを勘案し、所得制限内で、小学1年生から中学3年生までの通院医療費無償化の財源の見込みが立ったことから実施したいと考えた。



受診の様子

### 丹波少年自然の家事務組合の解散による影響

**問** 丹波少年自然の家事務組合を、令和5年度までに解散する方向で合意に至ったことを受け、解散した場合について伺う。①今後の自然学校はどのように実施するのか。②保護者負担はどのようになるのか。

**答** ①自然学校は、県教育委員会が重点施策とする「兵庫型体験教育」に位置づけられており、平成3年度から30年間にわたり、県下の公立小学校5年生を対象に実施されてきた。今後、活動場所は変更となるが、子どもたちが自分の頭で考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生

きる心の育成などを目的とし、各学校の目的や規模に応じた活動場所で継続して実施していく。②これまでも食費や個人が持ち帰る製作物等の費用は保護者負担とし、宿泊費や交通費、指導補助員や看護師の派遣等による経費は公費負担としてきた。今後もこの方針に変わりはなく、どの施設を利用しても、保護者負担が大きく変わることはない。

創政会



鈴木 久美子 議員



若松団地跡地の活用方針の変更

多くの保育ニーズが見込まれ、駅周辺の利便性が高い市営若松団地跡地の活用方針として、保育所誘致より共同利用施設集約化を優先された理由を伺う。

活用方針については、複数の隣接する建物の出入口が当該敷地に接していることから売却は困難と判断し、待機児童対策として民間保育施設誘致の方向で検討を始めた。その後、地域から共同利用施設等の統合再編先として、跡地活用の要望書が提出されたことを受け、民間保育施設と地域コミュニティ施設の複合施設化の検

討を進めてきたところ、民間保育事業者等との対話や、土地開発や施設整備での技術的な検討過程において、解決し難い問題が浮き彫りとなった。一方、阪急伊丹駅周辺での令和4年4月の供用開始を前提とした民間保育事業者の募集では、複数の応募があったことから、複合施設より民間事業用地で募集・整備することで1年早く保育定員を確保できる見通しであり、共同利用施設等の再編用地として活用する方針へと変更を行った。この方針変更は待機児童対策と共同利用施設の再編を両立するための最適な手法と考える。

学びのために活用できるよう努めている。



タブレット端末を活用した授業

小・中学生に貸与しているタブレット端末の管理

タブレット端末の使用時間や使用目的を児童生徒に指導しても改善されない場合、目的外使用の制限が必要と考えるが、見解を伺う。

自己管理の下に使用することが大切だと考えるが、発達段階によって自己管理が難しい場合もあり、学校での指導に加え、各家庭でルールを決めるなどの協力をお願いしている。

今後、タブレット端末の活用に伴い様々な課題が生じることも予想されるため、家庭で抱える課題等については学校に相談するなど、学校と家庭の連携を密にし、子どもたちのよりよい

タブレット端末の目的外使用については、機能制限ではなく、

日本共産党伊丹市議会議員団



上原 秀樹 議員



気候変動危機の打開に向けて

市環境基本計画の見直しにあたって、「気候非常事態宣言」、「2050年ゼロカーボンシティ宣言」をすることを求めるが、見解を伺う。

本市では、国の動きに合わせて、第3次市環境基本計画及び次期市地球温暖化対策推進実行計画の見直し、策定を行うとともに、市・市民・事業者が連携し、脱炭素社会の実現を目指して様々な環境施策の展開を検討している。気候非常事態宣言あるいはゼロカーボンシティの表明については、

理念だけでなく目標達成へ向けた具体的な道筋や取組を併せて示すことも重要であると考えており、今後の環境関連諸計画の見直しを進める中で、これらと併せて、より効果的な手段、時期について検討していく。



市環境基本計画(第3次)

地域医療体制の整備 ~新型コロナ感染症パンデミックを通じて~

新型コロナ感染症の経験を踏まえ、近畿中央病院跡地への医療機関の誘致は、回復期だけにこだわらない方向で、関係機関と協議を進めていただきたいと考えるが、見解を伺う。

編に係る基本方針」で、必要とされる病床機能の確保に努めることを、地域医療構想において果たすべき役割として位置づけた。これを踏まえ、令和3年8月1日付で「公立学校共済組合近畿中央病院跡地活用に関する覚書」の締結に至り、跡地を回復期機能を有する民間医療機関へ売却するため、必要な検討を行うとともに、売却時期も両病院の統合再編後、出来る限り速やかに実現出来るよう互いに協力することとし

ている。今後、コロナ禍においても、人口減少や高齢化等の中長期的な見通しや状況に変わりはないことから、持続可能な地域医療体制構築には、地域医療構想の枠組みに沿った取組を確実に進めることが必要不可欠である。跡地活用においても、回復期機能を有する民間医療機関の誘致に取り組み、病床機能の分化、連携の促進により、地域医療体制の整備に努める。

令和2年3月策定の「市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再

伊丹維新・無所属の会



齊藤 真治 議員



地域活動拠点整備事業

地域活動拠点整備事業において、指定管理者制度を利用し、地域住民が新たにそれぞれの共同利用施設等を管理・運営していく上で、どのようなことが地域力を維持・発展していくために必要なか見解を伺う。

が原因で利用されなかった市民の新たな利用が見込まれる。また、複数の施設を集約することで、新たな交流が生まれ、既存の活動がさらに充実することや、人が多く集うことにより、活動のアイデア等の発案が活発になるなど、新たな活動への展開が可能となる。加えて、施設の内容についても、地域からのご意見を参考にしながら、地域活動が実施しやすくなる設備を設置するなど、既存の活動のさらなる発展が見込まれる。

新たに整備された魅力的な施設となることで、これまで老朽化

空き家活用支援事業

令和3年度の空き家活用支援事業の評価について伺う。

ている。原因として、事業開始が8月となったことにより、周知期間が短かったこと、一定の期間を経過した空き家物件については、交通の利便性など立地条件等が購入希望者のニーズと合にくいこと、改修工事を実施する前に、県の承認が必要など手続の煩雑さが挙

令和3年度は利用見込み4件に対し、申込みは1件にとどまっ

このような機会を捉え、これまでの活動の継続と併せて、新たな視点からの意見等を踏まえながら、お互いの立場や考え方を理解し対話を重ねること、いわゆる「熟議」を行うことや、「熟議」により地域活動に興味を持った方が、新たな活動の担い手となること、地域力の維持・発展には必要であると考えている。



共同利用施設「緑ヶ丘センター」

げられる。令和3年度の状況を踏まえ、より多くの方に本事業を周知し、利用いただけるよう、広報伊丹を初めとする本市のあらゆる広報媒体の活用に加え、関係団体の協力のもと、空き家解消や市内への定住促進に向けて取り組みたい。

個人質問

代表質問のほか、18人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介し、代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



**新政会**

高塚 伴子 議員  
●環境行政(ゴミの収集) ●(仮称)伊丹市鴻池計画一巨大物流倉庫の建設

土井 秀勝 議員  
●DX ●脱炭素社会に向けた取り組み

花田康次郎 議員  
●コロナ禍における病児保育 ●奨学金返済支援事業

**公明党**

北原 速男 議員  
●不登校に対する取り組み ●物流施設整備にかかる(仮称)伊丹市鴻池計画

山本 恭子 議員  
●誰もが離職の不安なく働きやすい職場風土の構築 ●学校における自殺予防

里見 孝枝 議員  
●子ども家庭総合支援拠点事業 ●新保健センター ●新型コロナウイルス感染者(自宅療養者)への物資支援事業

永松 敏彦 議員  
●全国および市内における火災発生原因 ●市内の火災発生件数の推移 ●火災に遭われ、被災をされた市民への支援内容

**フォーラム伊丹**

保田 憲司 議員  
●市所有パイプオルガンの譲渡から考える

山藺 有理 議員  
●新庁舎 ●子育て世代を孤立させない見守り ●持続可能な自然学校

大津留 求 議員  
●水平社から100年 差別の無い社会実現 ●業務を委託等している民間事業者等へ契約変更の必要性を調査

岸田真佐人 議員  
●教職員のさらなる働き方改革 ●学校の避難経路改善 ●学校の電話回線増

高橋 有子 議員  
●放課後児童くらすの充実案 ●令和4年度からのアイホール ●公共施設マネジメントと脱炭素

**創政会**

新内竜一郎 議員  
●新型コロナウイルス感染症の対応策 ●地域課題を解決する為 行政の支援策

佐藤 良憲 議員  
●待機児童の現状と対策 ●丹波少年自然の家事務組合 ●共同利用施設の統合

川井田清香 議員  
●長期休業中における児童くらすの昼食提供 ●公園の再整備及び遊具等の更新工事

**日本共産党伊丹市議会議員団**

久村真知子 議員  
●ジェンダー平等社会

**伊丹維新・無所属の会**

佐竹 璃保 議員  
●ボランティア団体継続支援 ●伊丹まちづくりバンク ●公民館We部(うぇぶ) ●オンライン公民館まつり ●情報難民事業者をなくす商業施策 ●企業連携 ●ポータルサイトアプリの導入

**会派に属さない議員**

小西 彦治 議員  
●公共施設のあり方

# 議案審査

令和4年第1回定例会では、**議案は45件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された5つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にA~E

とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。3つの常任委員会と2つの特別委員会で審査が行われたんだ。



## 総務政策常任委員会

○令和3年度 一般会計補正予算

**18億469万7千円を追加補正**

国の補正予算に伴う有利な財源を活用し、学校・施設の大規模改修や、電気バスの試験導入などに取り組みられます。

その他の議案  
○物品の取得(3件)

## 文教福祉常任委員会

- 令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和3年度 介護保険事業特別会計補正予算

## 都市企業常任委員会

- 令和3年度 病院事業会計補正予算
- 令和3年度 下水道事業会計補正予算
- 令和3年度 交通事業会計補正予算

## 一般会計予算等審査特別委員会

○令和4年度 一般会計予算 A

**一般会計予算額は834億円**

令和4年度一般会計当初予算は834億円で、前年度比5億円減(0.6%減)となっています。

歳入においては、市債が臨時財政対策債及び普通建設事業の減少等により48億9千万円減、市税は経済情勢の悪化を見込んだ前年度からの反動増等により19億8千万円増となります。

歳出においては、扶助費が保育所定員数等の増加等により6億3千万円増、補助費等は保育士等処遇改善臨時特例事業補助金等により1億5千万円増となります。

財政調整基金は、幼児教育関連施策等のために一時的に取り崩した額を加算した名目の現在高が16.7%(実質的な現在高は13.5%)となり、財政指標の水準未達となる見込みです。

○児童クラブ条例の一部改正 B

本条例案について、育成料値上げの根拠や延長保育の料金を定額とする理由が問われたほか、減免に対する考え方、条例施行が令和5年度からとなる理由、さらには、周知内容とその方法がただされました。また、処遇改善に育成料を充当することへの見解や、新たな充実策にかかる経費の内訳がただされるとともに、昼食提供事業の利用予定者数、児童クラブで学習指導ができない理由など種々質疑が交わされました。

その他の議案

- 事務分掌条例の一部改正 C
- 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例等の一部改正 D
- 職員定数条例の一部改正
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 市長等の給与に関する条例の一部改正
- 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正 E
- 印鑑条例の一部改正
- 子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正
- 道路の構造基準等に関する条例の一部改正
- 消防団員の任用等に関する条例の一部改正
- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 財産の無償譲渡
- 市道路線の認定
- 令和4年度 一般会計補正予算

## 特別会計並びに企業会計予算等審査特別委員会

- 令和4年度 国民健康保険事業特別会計予算
- 令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 令和4年度 介護保険事業特別会計予算
- 令和4年度 鴻池財産区特別会計予算
- 令和4年度 荒牧財産区特別会計予算
- 令和4年度 新田中野財産区特別会計予算
- 令和4年度 病院事業会計予算
- 令和4年度 水道事業会計予算
- 令和4年度 工業用水道事業会計予算
- 令和4年度 下水道事業会計予算
- 令和4年度 交通事業会計予算
- 令和4年度 モーターボート競走事業会計予算
- 国民健康保険税条例の一部改正

## 委員会付託なし

- ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議
- 新庁舎整備工事の請負契約の一部変更契約
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 公平委員会委員の選任
- 教育委員会委員の任命

# 議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第1回定例会の**議案45件**全てが**可決・承認**されました。



議案 **42**件  
報告 **1**件  
諮問 **1**件  
決議 **1**件

### 賛否の分かれた議案

- A 令和4年度 一般会計予算
- B 児童クラブ条例の一部改正
- C 事務分掌条例の一部改正
- D 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例等の一部改正
- E 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

会派名 議員名	A	B	C	D	E
<b>新国会</b>	可決	可決	可決	可決	可決
加藤 光博 (議長)	—	—	—	—	—
高塚 伴子	○	○	○	○	○
杉 一	○	○	○	○	○
戸田 龍起	○	○	○	○	○
土井 秀勝	○	○	○	○	○
花田次郎	○	○	○	○	○

<b>公明党</b>	A	B	C	D	E
北原 速男	○	○	○	○	○
山本 恭子	○	○	○	○	○
篠原 光宏 (副議長)	○	○	○	○	○
竹村 和人	○	○	○	○	○
里見 孝枝	○	○	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○	○	○

<b>フォーラム伊丹</b>	A	B	C	D	E
保田 憲司	○	×	○	○	○
山岡 有理 (監査委員)	○	○	○	○	○
大津留 求	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○
高橋 有子	○	×	○	○	○
安藤なの香	○	×	○	○	○

<b>創政会</b>	A	B	C	D	E
新内竜一郎	○	○	○	○	○
吉井 健二	○	○	○	○	○
佐藤 良憲	○	○	○	○	○
川井田清香	○	○	○	○	○
鈴木久美子	×	○	○	○	○

<b>日本共産党伊丹市議会議員団</b>	A	B	C	D	E
上原 秀樹	×	×	×	×	×
久村真知子	×	×	×	×	×

<b>伊丹維新・無所属の会</b>	A	B	C	D	E
齊藤 真治	○	○	○	○	○
佐竹 璃保	○	○	○	○	○

会派に属さない議員	A	B	C	D	E
小西 彦治	○	×	○	○	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

